

1. コミュニティバスの利用実態

参考資料

1.1 利用実態

(1) 全ルート計

2018 年（平成 30 年）度の利用者数は約 60,960 人で、2016 年（平成 28 年）10 月のコミュニティバス有償化以降、利用者数は減少傾向となっている。

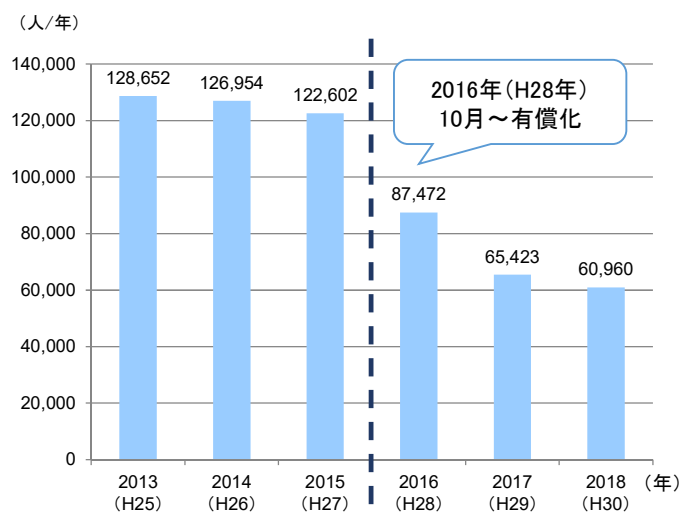
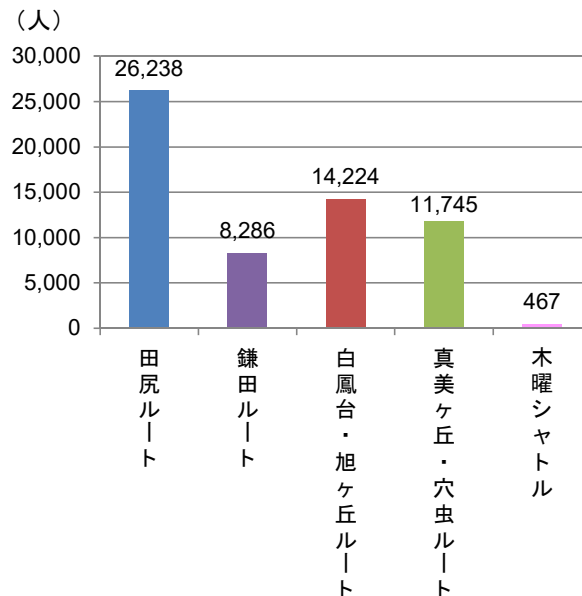


図 コミュニティバスの利用者数の推移

(2) ルート別

2018 年（平成 30 年）度の利用者数をルート別にみると、田尻ルートが年間 26,238 人で最も多い。一方、鎌田ルートが年間 8,286 人で少なく、1 便あたりの乗車人数は 5.6 人となっている。

また、木曜シャトルは、年間 467 人となっている。



資料：香芝市実績データ（2018 年（平成 30 年）4 月～2019 年（平成 31 年）3 月）

図 香芝市コミュニティバス ルート別利用者数

表 ルート別 1 日あたり・1 便あたりの利用者数

	年間乗客数	稼働日数	1 日あたりの乗客数	便数	1 便あたりの乗客数
田尻ルート	26,238	297.5	88.2	5	17.6
鎌田ルート	8,286	297.5	27.9	5	5.6
白鳳台・旭ヶ丘ルート	14,224	297.5	47.8	5	9.6
真美ヶ丘・穴虫ルート	11,745	297.5	39.5	6	6.6
木曜シャトル	467	49	9.5	16	0.6

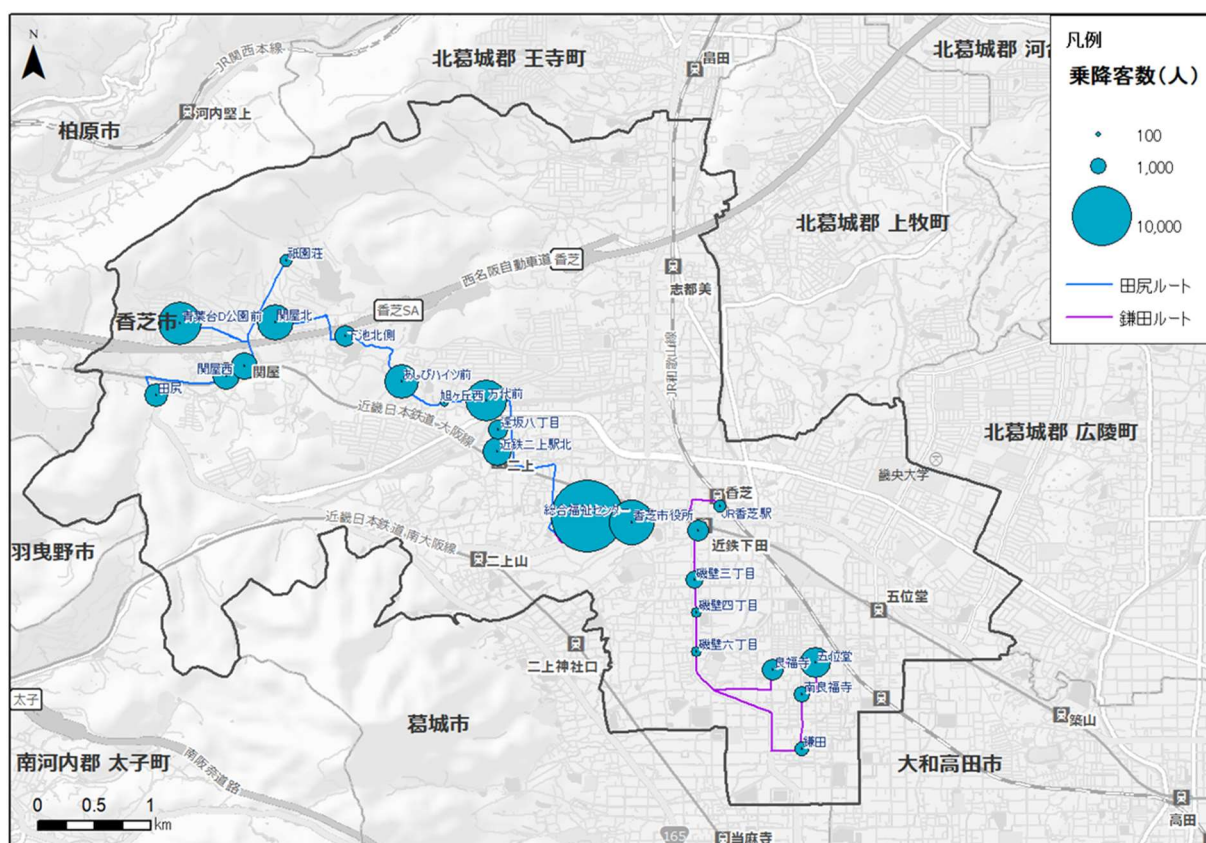
資料：香芝市実績データ（2018 年（平成 30 年）4 月～2019 年（平成 31 年）3 月）

① 田尻ルート・鎌田ルート

停留所別の利用状況をみると、「総合福祉センター」や「香芝市役所」のほか、田尻ルートでは「青葉台D公園前」「関屋北」「万代前」、鎌田ルートでは「五位堂」の利用が多い。

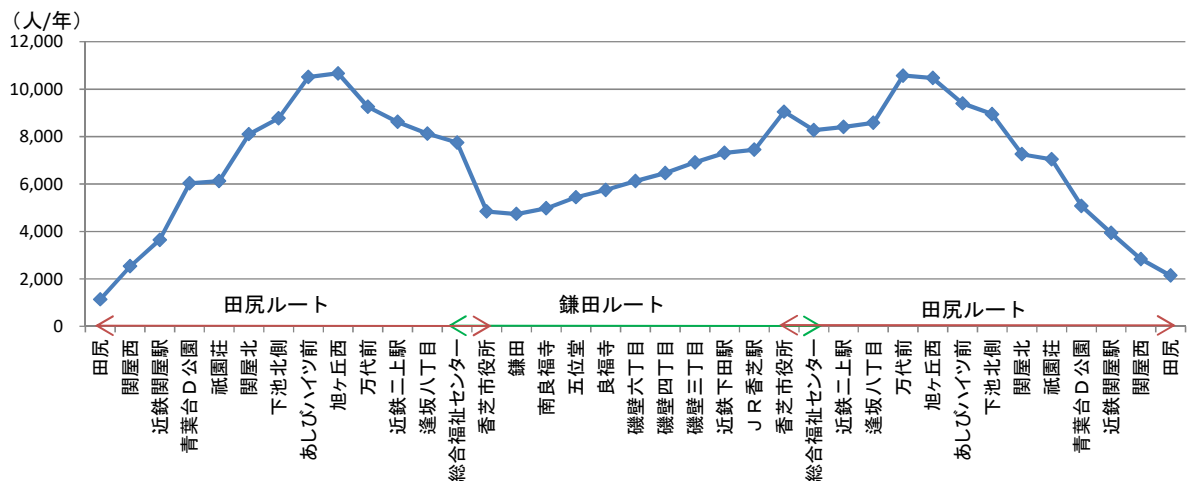
区間ごとの乗車人数をみると、「青葉台D公園前」や「関屋北」、「あしびハイツ前」などの住宅地と「万代前」や「総合福祉センター」などスーパーや温泉施設の間で利用者が多くなっている。

便別では、第1便（8時台）や第2便（10時台）で関屋地域から総合福祉センター方面の間で利用者が多く、逆方面では第2便（11時台）～第4便（15時台）の利用が多い。



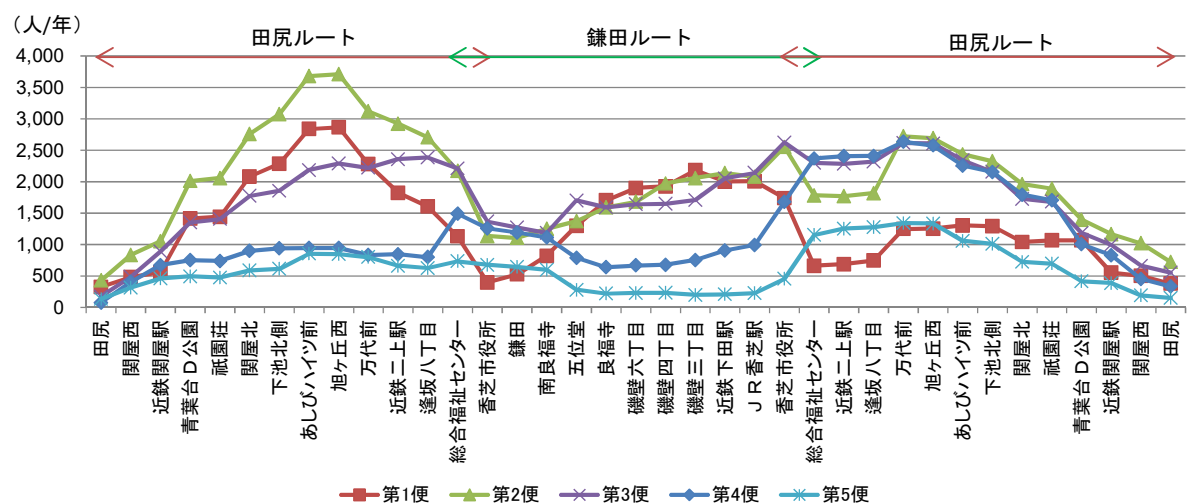
資料：香芝市実績データ（2018年（平成30年）4月～2019年（平成31年）3月）

図 田尻ルート・鎌田ルートの停留所別の利用状況（乗降者数）



資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

図 田尻ルート・鎌田ルートの区間ごとの乗車人数



資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

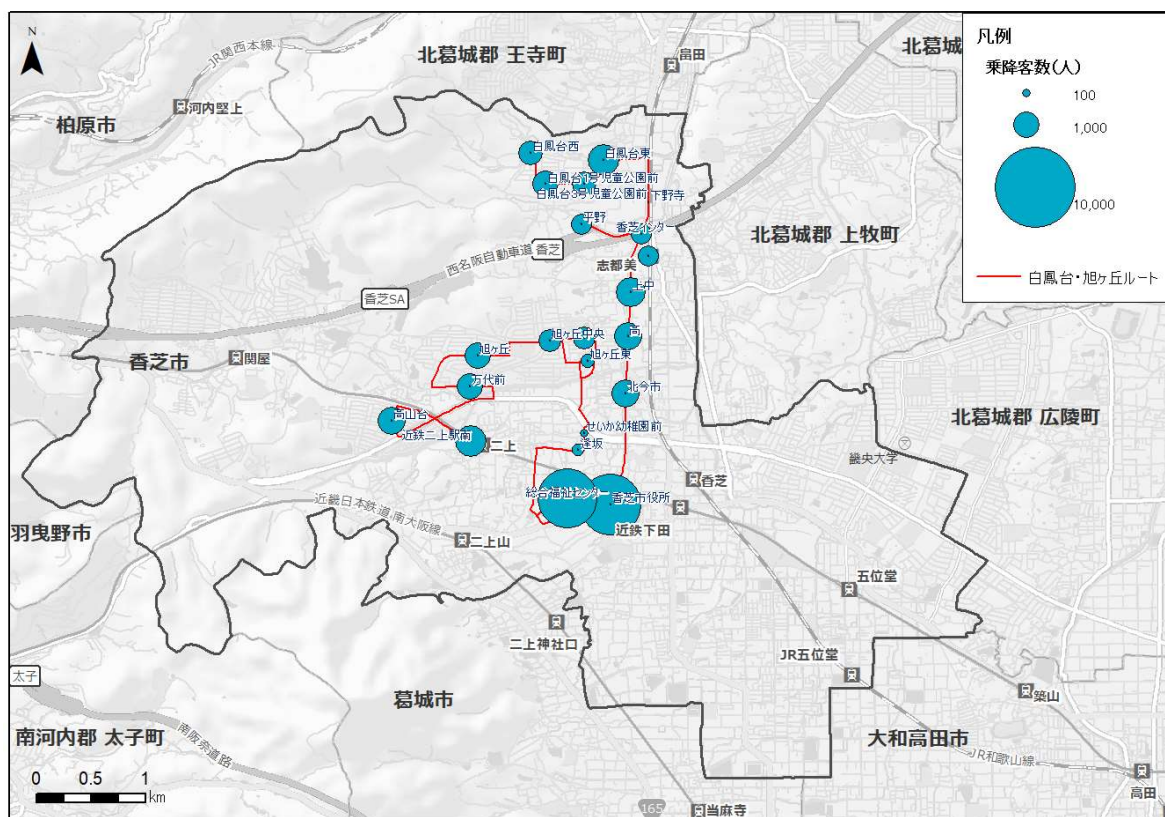
図 田尻ルート・鎌田ルートの区間ごとの乗車人数（便別）

② 白鳳台・旭ヶ丘ルート

停留所別の利用状況をみると、「総合福祉センター」や「香芝市役所」のほか、「白鳳台東」「上中」「近鉄二上駅南」「高山台」の利用が多い。

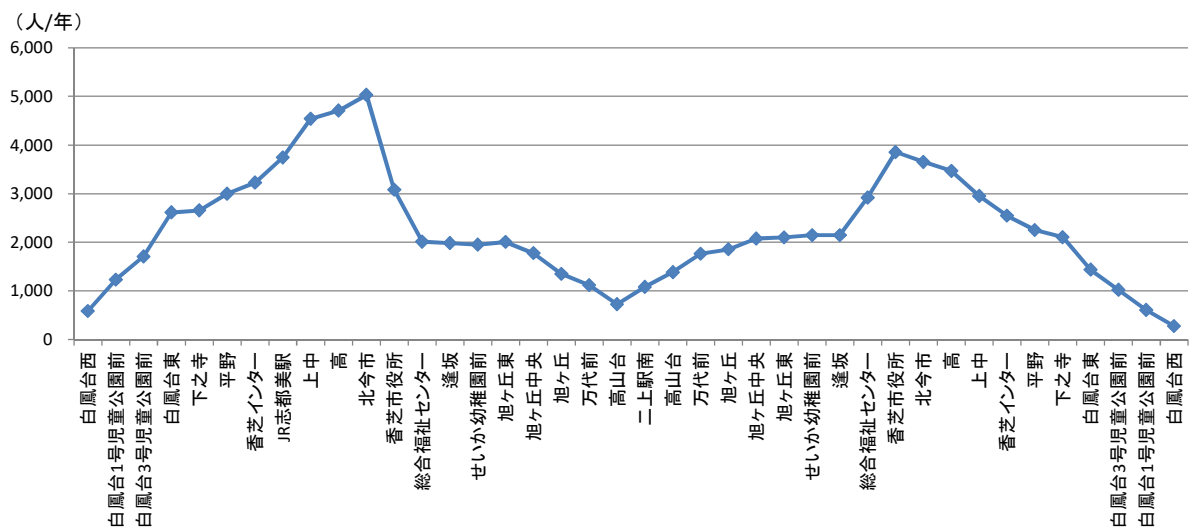
区間ごとの乗車人数をみると、「白鳳台東」や「上中」などの住宅地と「香芝市役所」や「総合福祉センター」などの公共施設の間で利用者が多くなっている。一方、「旭ヶ丘」や「高山台」、「白鳳台」付近では、年間2,000人を下回る区間も存在している。

便別では、第1便（8時台）～第3便（12時台）で白鳳台地域から総合福祉センター間での利用者が多く、逆方面では第4便（15時台）の利用が多い。



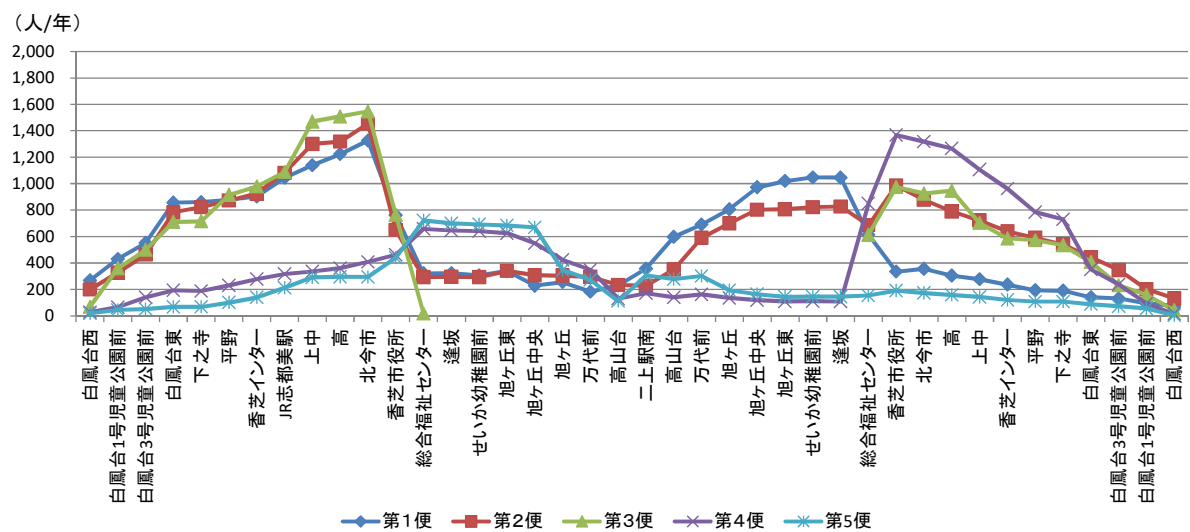
資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

図 白鳳台・旭ヶ丘ルートの停留所別の利用状況（乗降者数）



資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

図 白鳳台・旭ヶ丘ルートの間区ごとの乗車人数



資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

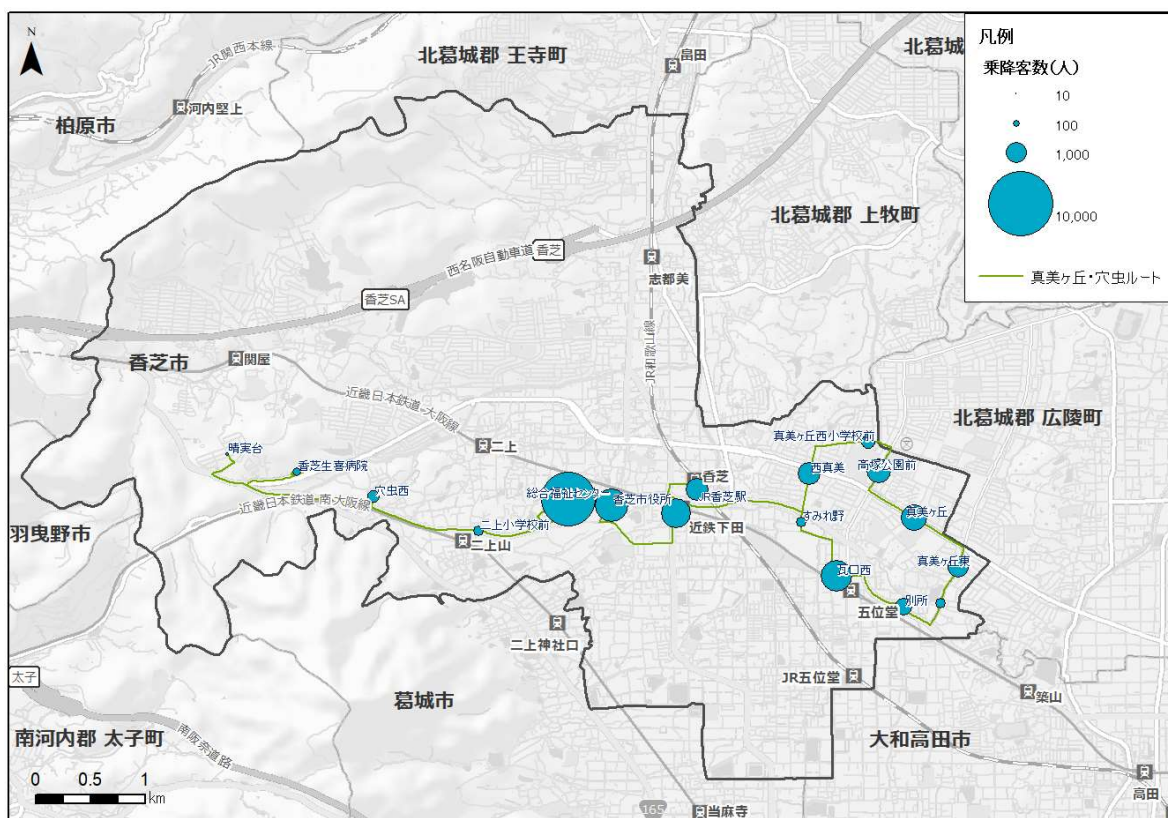
図 白鳳台・旭ヶ丘ルートの間区ごとの乗車人数（便別）

③ 真美ヶ丘・穴虫ルート

停留所別の利用状況を見ると、「総合福祉センター」や「香芝市役所」のほか、「瓦口西」の利用が最も多くなっている。

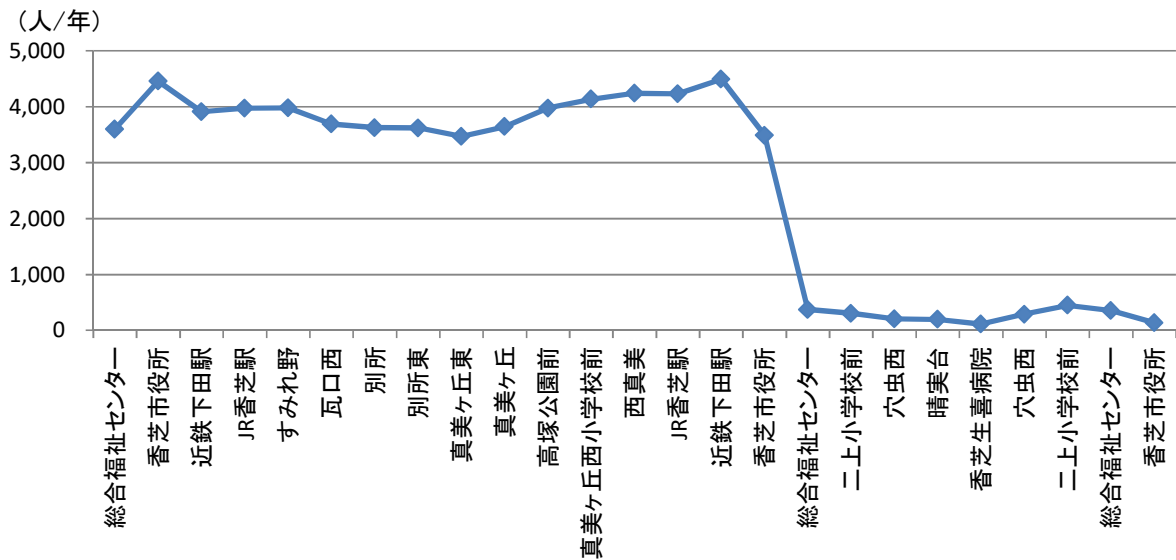
区間ごとの乗車人数をみると、総合福祉センター～真美ヶ丘方面～香芝市役所間での利用者数が多い。一方、総合福祉センター～二上方面～香芝市役所間は利用者が少ない。

便別では、他の便に比べ、第6便（17時台）の利用が少ない。



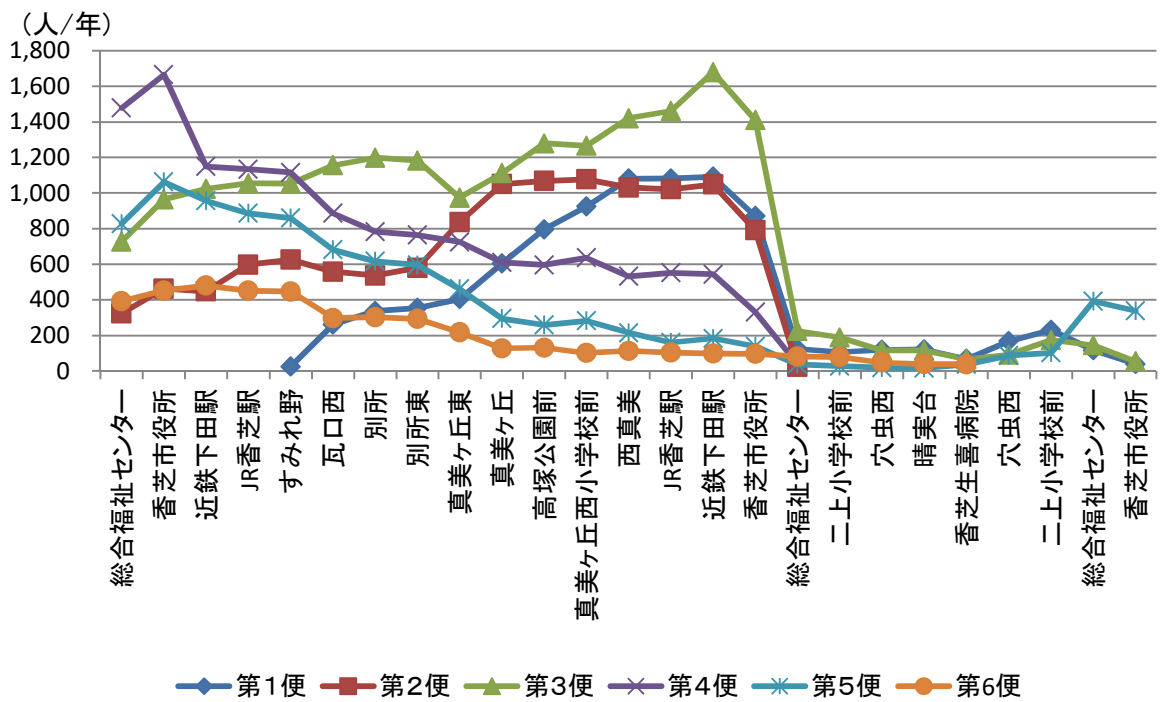
資料：香芝市実績データ（2018年（平成30年）4月～2019年（平成31年）3月）

図 真美ヶ丘・穴虫ルート の停留所別の利用状況（乗降者数）



資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

図 真美ヶ丘・穴虫ルートの間隔ごとの乗車人数



資料：香芝市実績データ（2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月）

図 真美ヶ丘・穴虫ルートの間隔ごとの乗車人数（便別）

1.2 運営状況

(1) 収支状況

コミュニティバスは、2018 年（平成 30 年）において、年間約 594 万円の歳入に対し、年間 3,992 万円の歳出を要しており、収支率は 14.9%となっている。

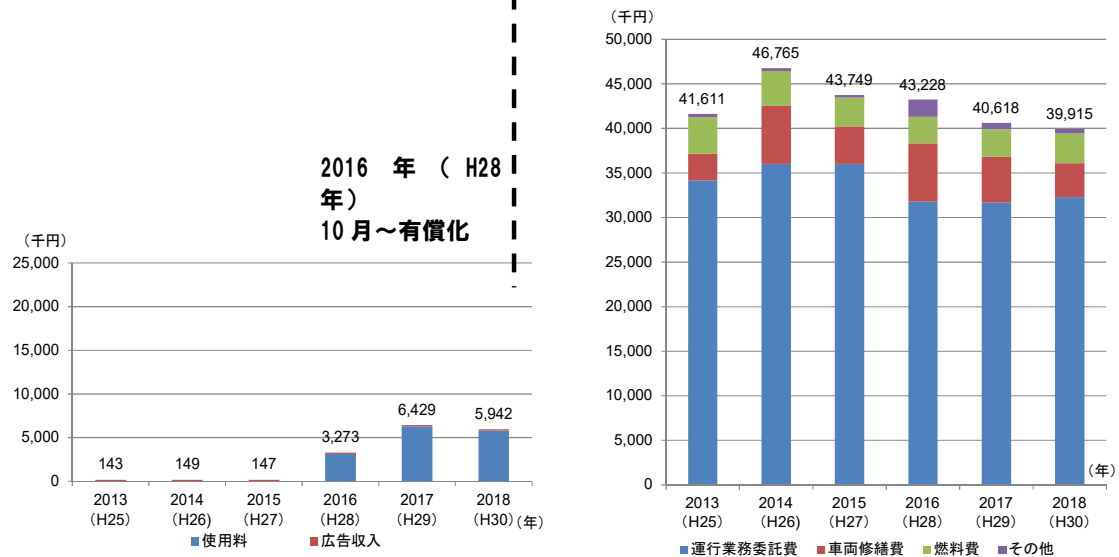


図 コミュニティバスの運行に係る歳入（左）と歳出（右）

(2) 車両

コミュニティバスは、予備車両も含めて 4 台を市が保有し、運行を行っている。車両は購入から 10 年以上が経過し、走行距離が約 60 万 k m となっている車両もあり、更新の必要性が高まっている。



図 使用されている車両